

オーナー名 株式会社ミヨシ産業

業種	大分類 卸売業・小売業	中分類 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業
HP	<a href="https://www.miyoshi-san.co.jp/">https://www.miyoshi-san.co.jp/</a>	

ZEBへの取組み目標（2030年中長期計画）

## 【地域連携による大規模木造ZEBの標準化と脱炭素モデルの構築】

当社は「住まいづくりの総合商社」として、カーボンニュートラルの実現に向け、国内初となる延床面積3,000m<sup>2</sup>超の「純木造（CLT活用）・4階建て・『ZEB』」による新社屋建設プロジェクトを推進する。

本事業を通じ、以下の目標に取り組む。

- ## 1. 「生きたショールーム」によるZEBの体感と普及促進

新社屋を、最新の環境技術と木造建築の快適性を五感で確認できる「次世代型ライブオフィス」として位置づける

カタログや数値だけでは伝わりにくい「本造ZEBの空間価値」をお客様や関係者に実体験してもらうことで、ZEB関連商材およびCIIT法の普及加速と市場拡大を牽引する

- ## 2 地域連携による「健康省Tネ」基準の非住宅への展開

鳥取県と普及活動を行っている鳥取県独自の健康県Tネ住宅基準「NE-ST」の概念を、本プロジェクトを通じて非住宅分野へ拡大・適用する

また、産官学連携で取り組む「ひとつどり都市本造推進協議会」の活動として、本建築を地域の木造建築推進のフレームワークとして

さらに、県産材の積極活用や、戸内緑化によるエネルギー効率向上を組み合わせ、「省エネかつ健康的で快適な働き場」の実証モデルを構築する

- ### 3. 白川の公開と東堀リーダーシップの確立

RIMを活用した設計・施工工事や、運用段階でのエナリギー自給自足実績を「ZEBRI-デバイス・オーナー」として積極的に開示する

BIMを活用した設計・施工ツリー、運用段階でのエネルギー白紙化と実績値を「ZEBリーフイングツリー」として強調的に用意する。また事例のいわゆる規模大造ZEBの技術的、経済的メリットを可視化し、地域社会に対する建設業界全体の貢献率を示す。

導入実績・導入計画